

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆上場企業7割が増益、4年ぶり高水準 4～12月期はAI投資の恩恵広がる

・上場企業の業績が好調。2025年4～12月期決算を発表した企業の7割が最終増益で、4年ぶりの高水準となった。生成AI(人工知能)投資の恩恵が半導体の製造装置や素材だけでなく、データセンター向けインフラなど幅広い業種に波及した。資本効率改革による収益力の底上げもあり、米関税の影響を吸収した。

#### ◆食品消費税ゼロ「外食も対象に」 業界団体、中食シフトに危機感

・外食の業界団体、日本フードサービス協会は食品の消費税がゼロになる場合、外食も対象にするよう政府に要望する。久志本京子会長(アールディーシー会長)が日本経済新聞の取材で明らかにした。与野党が衆院選の公約に食品の消費税ゼロを掲げるが、弁当や総菜などの中食のみ安くなれば外食店から客が流れると危機感を示す。

#### ◆ヤマトHD、取扱数量減で下方修正 26年3月期の純利益60%減に

・ヤマトホールディングスは2026年3月期の連結純利益が前期比60%減の150億円になる見通しだと発表。従来予想(37%減の240億円)から90億円下方修正し、事前の市場予想平均(QUICKコンセンサス、259億円)に届かなかった。物価高による消費意欲の減退で荷動きが鈍く、大口法人の顧客からの取扱数量が想定を下回る。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆東電が資本提携先の募集開始 3月末まで、外資参画や非公開化も視野

・東京電力ホールディングスは新たな経営再建計画で方針を示した外部との資本提携の募集を始めたと発表した。国内外のファンドや事業会社などを念頭に3月末まで提携先や具体的な提携の枠組みの提案を募る。枠組みでは外資企業の資本参加や株式の非公開化も排除しない。資金確保への成長戦略を外部と連携して進める。

#### ◆フラット35、2月の最低金利は2.26% 現行制度で最高

・住宅金融支援機構は長期固定金利型の公的住宅ローン「フラット35」について2月の金利を発表した。借入期間が21年以上で、住宅の購入価格に対する融資率が9割以下の場合の最低金利は2.26%だった。1月は2.08%で、4カ月連続で前月比で上昇した。金利水準は2017年10月に現行制度になって以降、最高となる。

#### ◆JAHO「大工志塾」9期生の募集開始 若手大工が対象 全国6カ所で

・(一財)住宅産業研修財団(JAHO)は日本の伝統木造建築技術が学べる「大工志塾」(第9期生・6月入塾)の募集を開始。「大工志塾」は、若手大工を対象とした本格的な大工職人になるための育成プログラム。木造伝統構法にも用いられる墨付け刻みの基本的な大工技術・技能を働きながら習得することができる。

### 《 注目商品 》

#### ■パナソニック、最大切断幅127mmの充電式ハンドソー

・電動工具ブランド・EXENA(エグゼナ)から、電池パック18V専用機「充電バンドソー127」を3月1日に発売。従来品と比べ最大切断幅は127mmとなり、ケーブルラック親桁100mmや電線管G70以上をワンストロークで切断することができる。



#### ■パナソニックエレクトリックワークス社、HEMS対応の住宅分電盤

・住宅分電盤にHEMS対応モデルを追加、同社HEMS機器との連携により電気使用量の「見える化」を実現。形状は業界最薄の水平垂直基調で、表面に特殊シボ加工を施し、空間に美しく納まる。天井・壁面との隙間なしで、空間に合わせた柔軟な設置が可能。



#### ■ミラタップ 浮遊感を演出するスチールフレーム付き洗面

・9年連続1番人気のコンパクトな洗面ボウルとオリジナルフレームを組み合わせた洗面セット「エレガンスフレーム洗面」を発売。スチールパイプ製のフレームは丸みを帯びた柔らかな形状が特徴。浮遊感のある見た目で、フレーム下部はタオル掛けを兼ねる。

